

○支援プログラム

法人理念	障がいの有無や発達の遅速に拘わらず自立や社会参加を支援する事業を行うことにより、誰もが生き甲斐を持って生活できる環境づくりに寄与する。		
支援方針	子どもたち「ひとりひとり」の個性を大切に尊重しながら基本的な生活習慣、対人関係、言語やコミュニケーションなどの力をのばし自立を支援します。		
営業時間	月～金 9:00～18:30 土 8:30～17:00 日(月1) 9:30～16:30	送迎実施	無

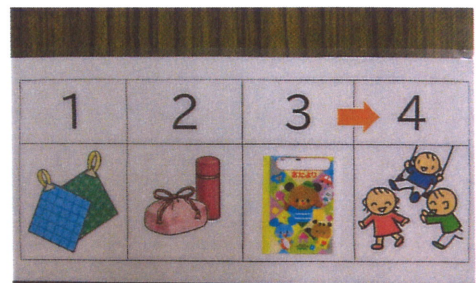
○支援内容(児童発達支援)

遊びを通して、自分から楽しい、やりたいと思えるように、人と関わることが楽しいと思えるようにサポートします。

幼児クラス

【健康・生活】

朝の用意ができる。(靴をぬぐ、靴箱に入れる。タオルをかける。お弁当水筒を所定の位置に出す。お帳面にシールをはる。)お弁当を食べる。(弁当を袋から出す。箸や、フォークを使って自分で食べるなど)トイレトレーニング他、基本的な生活習慣を身につける。



【運動・感覚】

個別課題(微細運動)。運動遊び(粗大運動)、音楽遊び、制作課題。(はさみ、のり、クレパス、絵具など様々な道具や材料を使って五感に働きかける。)季節を感じる遊びなど。

【認知・行動】

他者の話を聞く大切さを意識する。他者の話を聞いて行動して成功することによって肯定感を高め、他者とのやり取りにつなげる。また、自分の話を聞いてもらうこと、ほめられることによって、場所に慣れ、他者との愛着を形成する。

【言語・コミュニケーション】

カード、音楽などを使って言語の発達を促す。個々の言語の苦手さを考えて、それぞれに合った、言語の発達をゆっくりと進める。。

【人間関係・社会性】

少人数保育。自分以外の存在を知り、やり取りを学ぶ基礎を養う。安心の環境の中で、自分でやってみようと思う心を育てる。

就学準備クラス(年少クラス・年長クラス)

【健康・生活】

気候の変動によって、スモッグを脱いだり、寒かったら服を着たりする習慣作り。また、来てすぐに個別課題があるので、自分で筆箱を出して、机上で学習をするという習慣をつける。

靴を脱いだら、靴箱に入れるなどの、自分のものの管理をする。

【運動・感覚】

自由遊びの時に運動を取り入れる。様々な遊具があるので、サーキット遊び、徐々にルールある遊びに変えていけるよう(個人→集団)感情のコントロールを促す。(我慢する気持ちや、他者を意識する気持ちなど)

【認知・行動】

ルールを理解して、集団で遊べるように促す。もめたときにはどう対処するのかを学ぶ。もめる前にとめることも必要だが、もめてしまった後子供が自分がなぜもめたのか？どうすればよかったのか？などの対処の仕方が大切。(SSTを学びながら実際に経験につなげる。)

文字や、数など小学校入学時に、困らない学力を目標に学習を進める。

【言語・コミュニケーション】

他者に対しての言葉遣いなど、他者がどう感じているのかを客観的に伝えて、メタ認知を促す。楽しい時、嬉しい時、悲しい時、悔しい時など、感情にあわせた言語表現を、見本を提示しながら、伝える。

【人間関係・社会性】

ルールある遊びの中で、他者と関わることが楽しいと思えるように導く。自分が困った時などは、誰にどう言ったらいいのか具体的表現を伝える。

○支援内容(放課後等デイサービス)

・絵画・プログラミング・食育活動・おやつ作り・和太鼓・学習・ダンス・陶芸・イラスト・その他実験など様々な経験にチャレンジします。

・自分の将来を考えながら、遊びや様々なツールを使って自分でやる事、助けてもらう事、他者とのかわりの大切さを知ってもらえるようにサポートします。

【健康・生活】

自分の物の管理や、衣類の着脱など気候に合わせて自主的に行動する。自分から他者にわからないことは聞くことができる。他者と積極的に関わろうとする力をつける。自主的に行動できるように導

く。(自分でニームに来ることができる。など)

【運動・感覚】

絵画活動など様々な道具を使って課題をすることができる。積極的に他者の遊びの中に入ったり、ダンスなど積極的に体を動かすことができる。自分で、苦手な感覚があれば、どうやったら克服できるかを考えられる。(陶芸粘土を冷たいからいやと感じたら、手袋をはめるなどの対処を自分で考えるなど。)

【認知・行動】

おやつ作りや、食育活動などは、積極的に自分からしようと思い行動する。作る過程などを考えたり、自分で作りたいものを提案したりする。自分の椅子だけを用意したりするのではなく、他者の事を考えて一緒に行動できるようにする。

【言語・コミュニケーション】

自分の行動を、5W1Hを意識して相手に言葉で伝えることができるようにする。言葉を正しく使って相手に伝えたいと思う気持ちを促す。グループディスカッションを楽しむ。

【人間関係・社会性】

相手を認める気持ちを持つ。様々な体験を通じて、周囲の人との円滑な人間関係を学ぶ。ルールある遊び、自分たちでルールを作るなど、社会性を学ぶ。我慢する、相手に譲るなど、円滑なコミュニケーションとは何かを考える。



(児童発達支援・放課後等デイサービス共通)

【家族支援】

保護者の送迎の際、家庭療育内容や教室の様子などを伝えて、次の課題につなげる。
定期的に情報の共有に努め、懇談などを通して、家族全体のより良い支援につなげていく。
保護者の気持ちや、兄弟姉妹支援などを考え、保護者サークルや、親兄弟姉妹参加イベントなどを開催する。

【移行支援】

移行について考える際は、保護者との話し合いによって、お互いより良い支援を考える。また、移行するにあたって必要な機関との連携をもつ。
社会と関わりが持てるように、日々子どもの移行を考えて、その時期を保護者と相談をしながら決めていく。

【地域支援・地域連携】

地域支援・連携が、すぐとれるように、日々体制を整えておく。

子ども個人の情報や、問題解決につながるように、日々の観察を記録しておく。必要な時にすぐに提示できるようにしておく。

【職員の質の向上】

法廷研修以外にも、各種研修を整えて日々研修に参加を促す。

職員同士、対話する時間を確保する。

【主な行事等】全体参加を促す行事(保護者・兄弟姉妹参加)

- ・防災センターで防火・防災避難訓練についての学習
- ・クリスマス会
- ・餅つき

【その他行事】

保護者サークル

幼児教室

夏休み宿題しよう会

手話カフェ(手話イベント)

※個別支援計画を作成するにあたって参考資料。

KIDS(乳幼児発達スケール)・Vineland-Ⅱ・S-M 社会能力検査・TASP・SDQ など